

【令和8年(2026年)福岡ソフトバンクホークス日本一による経済波及効果】

項目	県内消費 増加額	県内経済 波及効果	試算概要
I クライマックス シリーズ観客消費	50.8 億円 (+5.2)	82.2 億円 (+12.9)	○ みずほPayPayドームで7試合開催、 観客数1試合あたり39,894人(満席)で試算 ・ チケット代 1,372百万円 ・ 交通費 1,314百万円 ・ 宿泊費 598百万円 ・ 飲食費 1,020百万円 ・ 土産等 777百万円 - 計 5,081百万円
II 日本シリーズ 観客消費	27.8 億円 (-6.2)	44.6 億円 (-6.8)	○ みずほPayPayドームで3試合開催、 観客数1試合あたり39,894人(満席)で試算 ○ パブリックビューイングをビジター球場4試合のうち 2試合で開催、観客数1試合あたり15,614人で試算 ・ チケット代 989百万円 ・ 交通費 625百万円 ・ 宿泊費 256百万円 ・ 飲食費 528百万円 ・ 土産等 386百万円 - 計 2,784百万円
III 優勝記念セールに よる売上増加等	211.5 億円 (+8.3)	325.7 億円 (+26.3)	○ 優勝記念セールを3回開催(リーグ優勝時、 CS優勝時、日本S優勝時)で試算 ・ 百貨店 4,100百万円 ・ スーパー 1,713百万円 ・ 専門店 14,420百万円 - 計 20,233百万円 ○ テレビ放映権料 350百万円 ○ スポーツ紙の売上増加 564百万円
IV 祝賀パレード 観客消費	28.7 億円 (-1.5)	45.7 億円 (-0.1)	○ パレード観客数310,000人で試算 ・ 交通費 536百万円 ・ 飲食費 975百万円 ・ 土産等 1,357百万円 - 計 2,868百万円
計	318.8 億円 (+5.9)	498.3 億円 (+32.5)	

※ ()内はR7年比、単位は億円

※ 各項目を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。

※ 優勝記念セールは、リーグ優勝以降のセール等を対象としている。

<経済波及効果とは>

経済波及とは、ある産業に対して生じた最終需要がその生産を誘発するとともに、原材料等を提供している企業などの生産も次々と誘発されていくことをいい、その生産誘発額は以下の効果に分けられる。

- (1) 直接効果・・・消費や投資などの最終需要により生じる最初の生産増加額
- (2) 第一次間接効果・・・新たな生産により生じた原材料等の投入によって、県内各産業部門で誘発された生産額
- (3) 第二次間接効果・・・(1)(2)に伴って発生した雇用者所得が新たな消費需要にまわり、それにより誘発された生産額